

## 令和7年度中部近畿地方鉱山保安協議会 近畿地区部会 議事概要

1. 日 時：令和8年3月30日（月） 14：00～16：00
2. 場 所：大阪合同庁舎1号館本館2階 第一会議室
3. 出席者：中部近畿地方鉱山保安協議会近畿地区部会委員  
7名出席（うち、オンライン出席2名）／9名中
4. 議 題：〔報告事項〕
  - ①近畿管内の鉱山概況について
  - ②最近の災害・鉱害発生状況について
  - ③中央鉱山保安協議会の動向及び関係法令の改正について
  - ④第14次鉱業労働災害防止計画の取組状況について
  - ⑤特定施設に係る鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第6次）の取組状況について
  - ⑥令和7年度近畿支部の取組状況について
  - ⑦令和8年度鉱山保安監督指導方針（案）について
  - ⑧その他
5. 配付資料：
  - 資料① 近畿支部管内の鉱山概況
  - 資料②－1 全国・近畿管内鉱山災害発生状況（グラフ）
  - 資料②－2 令和7年全国鉱山災害発生状況
  - 資料②－3 災害等情報（速報）令和7年12月15日発生
  - 資料②－4 鉱山における車両転落等による災害発生防止について（注意喚起）
  - 資料②－5 災害等情報（速報）令和8年1月24日発生
  - 資料③－1 鉱山保安協議会の開催状況
  - 資料③－2 ※鉱山における高年齢者の危害防止に係る現状と対応の方向性について
  - 資料③－3 ※避雷装置等に係る日本産業規格の見直しについて（案）
  - 資料③－4 ※産業保安を巡る環境変化に伴う中長期的な安全確保に向けて（鉱山分野）
  - 資料③－5 ※海底鉱物資源開発について
  - 資料③－6 ※金属鉱業等鉱害対策特別措置法施行規則の一部改正（案）

- 資料③－ 7 ※CCS事業法における保安措置の検討状況について
- 資料④ ※第14次鉱業労働災害防止計画の取組状況について
- 資料⑤ ※鉱害防止事業の実施に関する基本方針（第6次）の取組状況について
- 資料⑥ 令和7年度近畿支部の取組状況について
- 資料⑦ 令和8年度鉱山保安監督指導方針（案）

※中央鉱山保安協議会資料を利用

6. 議事概要（報告事項）：各報告事項について、事務局から資料に基づき説明した。主な質疑は以下のとおり。

・報告事項（1）

■ 特段質疑は無かった。

・報告事項（2）

（委員質問） 災害後、検討された対策・対応は監督部へ報告されるのか。

（事務局回答） 報告を受けている。また、監督部としても現地確認を行っている。

（委員質問） 同様の鉱山もあると思うので、災害後の対策・対応内容を示せば、同様の災害は減ってくると思う。

・報告事項（3）

（委員質問） 所属する鉱山では労働者の平均年齢が50歳を超えており、対応が迫られている事項と思っている。転倒など高年齢者特有の災害が発生しやすいことは承知しており、各種対策は検討しているが、可能であれば他鉱山の取組事例について情報共有いただきたい。

（事務局回答） 鉱山保安法に限らず、一般法令の対応状況も情報収集をし、説明できるように努めたい。

（委員質問） エイジフレンドリーガイドラインは各鉱山までなかなか周知されておらず、周知の方法の工夫があれば良いのではないか。

（事務局回答） メールマガジン等で周知しているが、今後は立入検査やいろいろな機会でも周知していきたい。

（委員質問） 過去には、デジタル技術の導入を試みたものの、実用化までには至らなかった。今後、国として、導入事例や資金面の情報を共有いただけるとありがたい。

・報告事項（4）

■ 特段質疑は無かった。

・報告事項（5）

■ 特段質疑は無かった。

・ 報告事項（６）  
■ 特段質疑は無かった。

・ 報告事項（７）  
■ 特段質疑は無かった。

・ 報告事項（８）  
■ 特段質疑は無かった。

7. 各委員からの報告・意見等  
■ 特になし

以 上